

理数科 1 年 8 組 天津小湊野外実習

理数科 1 年 8 組は毎年 2 泊 3 日で生物地学分野の野外実習を天津小湊周辺で行っています。今年度は 9 月 28 日（水）から 30 日（金）の 3 日間の日程で行われました。



第 1 日：生物分野

宿舎となった内浦山県の森のフィールドで植生調査を行いました。実習班ごとに急斜面に 10 × 10m のコードラートを張り、名物のヒルの攻撃に耐えながら（今年も数名の生徒が犠牲になりました。）植物の観察と同定を行いました。



夜はこれも実習名物の「葉っぱテスト」です。ランダムに出題される 10 種類の木の葉をみて 8 種類以上植物名を答えられたら合格です。生徒は合格するまでチャレンジし続けなければいけません。今年



は 9 名の生徒が日付をまたぎ、翌日持越しになってしまいました。今までで一番厳しい結果でしたが、翌日全員合格することが出来ました。

第 2 日：地学分野



午前には勝浦海中公園周辺の露頭観察です。今年は大潮の引き潮と重なり、過去 6 年間行くことが出来なかった「黒滝不整合」を観察することが出来ました。他に断層や、鍵層に利用されるスコリア層、生痕化石など観察することができました。また波打ち際に打ち上げられたネコザメ、ハリセンボンなども見る事が出来ました。トビの襲撃に耐えながら（楽しみながら？）野外でランチを取った後午後は鴨川青年の家付近の枕状溶岩の観察と岩石採集を行いました。夕食後、夜は初日の植生調査のまとめを行いました。



第3日：生物分野



千葉大バイオセンター横の磯で生物の採集を行い、バイオセンターの施設をお借りして採取生物の同定を行いました。中には全身水没しながら採取している強者も見られました。

今回の実習は雨が続く天気予報でしたが幸い実習中は一滴の雨に降られることなく無事実習を終えることが出来ました。(夜の天体観測だけは残念ながらできませんでした。)この後生徒たちは11月の実習報告研究発表会に向け班ごとにテーマを設定し、準備を進めることになります。



～生徒アンケートより～

- * 黒滝不整合を見ることができ、感動！
- * 磯採集楽しかった！
- * アシダカグモとの出会いで人生が変わった。
- * 遠く離れた地層がつながっていることがわかり驚いた。
- * 仲間との絆や自然の偉大さを深く感じた。
- * 教科書でしか見たことの無い露頭を実際に見て触れることができた。
- * 自由度が高い分、自分たちで考えて行動する必要性を感じた。